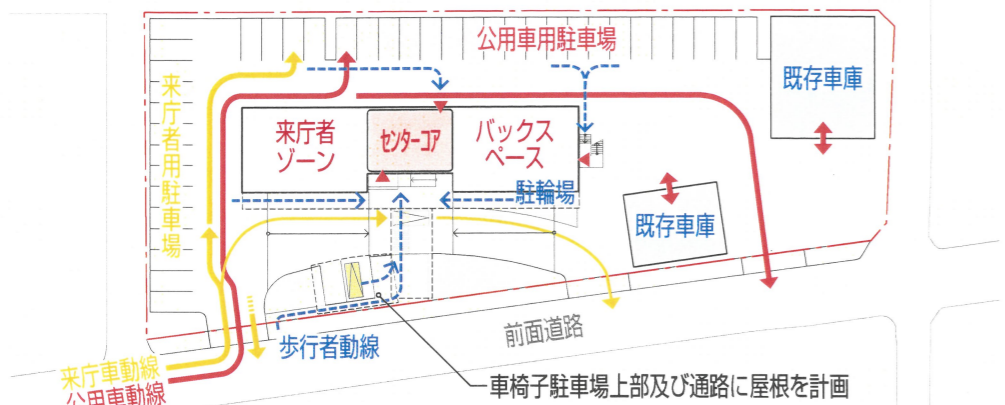


### 課題1 県民の利便性に配慮し、必要なセキュリティが確保された庁舎の提案

#### ■来庁者にとって利便性が高く明解な配置計画・平面計画

建物は横長の矩形平面として敷地中央に配置し、駐車スペースを周囲にレイアウトすることで、各駐車場からの歩行距離をなるべく短くする利便性を考慮した配置計画とします。前面通り沿いと敷地西側に来庁者用の駐車場をまとめ、公用車用駐車場を敷地北側にまとめることで明確な動線分離を行います。敷地南側に車回しのスペースを設け、スムーズな送迎動線を確保します。

建物平面は40m×10mのリニアな矩形平面とし、中央部分にエントランスロビー・階段・EVをまとめたセンターコアタイプとすることで来庁者ゾーンとバックスペース、秘匿性が求められる室を明確に分離しつつ、建物内の動線を最小限とした利便性の高い平面計画とします。



・建物配置及び敷地内動線のイメージ

#### ■職員にとって働きやすい配置計画・平面計画

敷地北側の公用車用駐車場から、各階の執務室及び当直室へアクセスしやすいようにサブエントランス及び従業員用玄関を設けます。2階の刑事生活安全係へは内部階段の他、外部階段から直接アクセスできるようにすることで捜査活動の秘匿性や被害者のプライバシー保護に配慮します。

#### ■利便性と調和するセキュリティ計画

1階においては来庁者ゾーンとバックスペースの間に、2階においては来庁者ゾーンと装備品関係諸室及び刑事生活安全係との間にセキュリティラインを設け、電子錠により入退管理をする計画とします。

### 課題3 人にやさしく、環境に配慮した庁舎の提案

#### ■あらゆる来庁者にとって使いやすい庁舎

中央コアタイプの分かりやすい平面計画とした上で、ピクトグラム・多言語表記とした誰もが分かりやすいサイン計画とします。来庁者が利用する廊下等は十分な幅員を確保すると共に手摺を設置し、扉付近であってもなるべく手摺が連続するディテールとします。

#### ■県産材と自然素材（エコマテリアル）の活用

内壁仕上げには福島県産杉材及び、調湿作用・消臭効果のある珪藻土を採用することで、24時間勤務の身体に優しい内装デザインとします。床仕上げには天然の素材から作られるリノリウムシートの採用を検討します。

#### ■ZEB Ready達成に向けた取り組み

基本計画に記載されているとおりZEBReady相当を目指すことから、外断熱工法+木・アルミ複合断熱サッシ+熱橋部への吹付断熱充填により徹底的に建物の断熱性能を確保した上で、省エネ設備として昼光制御タイプのLED照明や、寒冷地用の高効率空調設備の導入を検討し、ランニングコストの削減を図ります。また再生可能エネルギーの活用として太陽光発電設備を設置します。

#### ■北側隣地への日影の発生を抑える配置計画

建物は敷地中央に配置し北側隣地まで距離を空けることで、北側隣地に日影がほぼ発生しない計画とします。

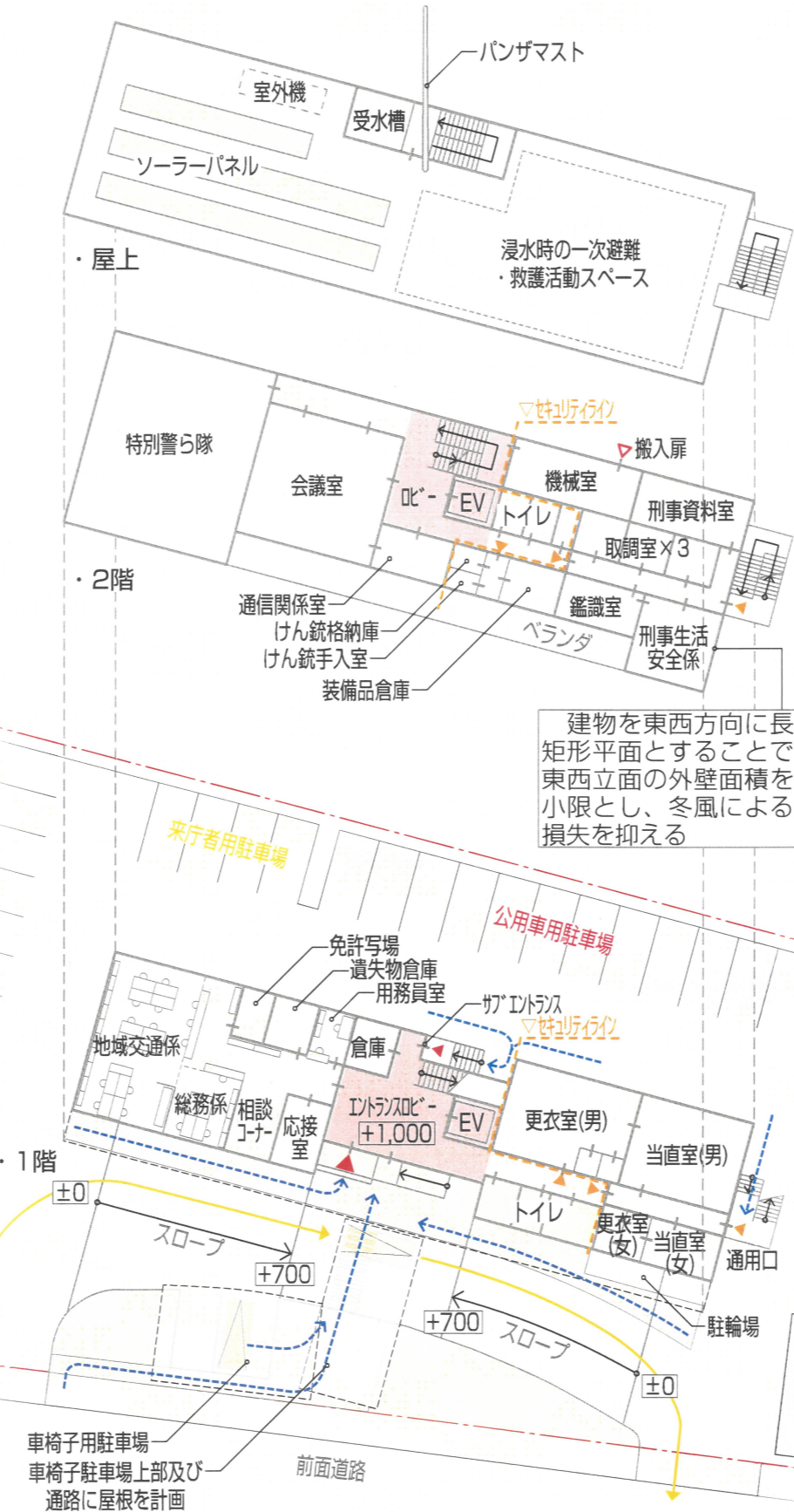
#### ■これからできる町並みの可能性を狭めないシンプルな外観デザイン

浪江駅の開発が始まり、数年後には町の活気が様変わりすると予測されることから、これからできる町並みと調和するようにシンプルな外観デザインとします。

## 浪江町を支える新しい「コア」

— シンプルに力強く、質実剛健な警察署 —

駅前の開発を始め新しく成長していく浪江町の治安を守る、町の中核を担う「コア」として機能する力強い警察署を提案したいと思います。



建物を東西方向に長い矩形平面とすることで、東西立面の外壁面積を最小限とし、冬風による熱損失を抑える

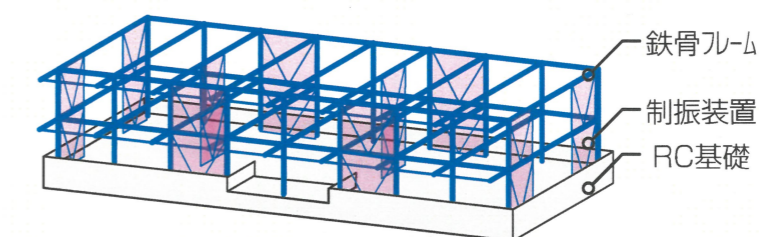
・各階平面のイメージ  
敷地に「中央」配置 / 「センターコア」の平面プラン / 「中心性」を強調した象徴的な外観デザイン

### 課題2 県民の安全・安心の拠点となる庁舎の提案

#### ■耐震性・浸水対策・コストバランスに配慮した構造計画

主要構造は耐震性とコストバランスに優れた、鉄骨造の制振構造を採用します。主に各階の外壁沿いに、バランス良くアンボンドブレース（制振装置）を配置することで、自由に平面を計画できる構造とします。

1階の床スラブ及び腰壁（FL+1m高さ）までをRC基礎で造ることで浸水高さ1.8mより高い擁壁となる構造計画とします。昨今の世界情勢の影響からコンクリートの価格高騰は著しく、鉄骨造としながらコンクリートの使用量を極力抑えることで建設コストに配慮します。



・鉄骨フレームの制振構造のイメージ

#### ■浸水の弱点となる出入口も確実に止水する浸水対策

建物出入口には電動の起伏式止水板を設置することで、確実な浸水対策を行います。

#### ■災害時にも機能維持する設備計画（BCP）

地震や、豪雨による浸水等あらゆる災害に備え、設備機器の振動・転倒対策や、電力・上水等のバックアップ機能を十分に検討します。電力供給途絶時に備え、庁舎機能が一定期間維持可能な非常用発電設備（72時間対応）を設置します。断水時にも、災害応急対応拠点に必要な水源の確保や、受水槽・ポンプ等の給水設備の機能維持や、耐震性貯水槽の採用を検討します。通信設備の多重化を検討することで災害時の業務継続性を確保します。

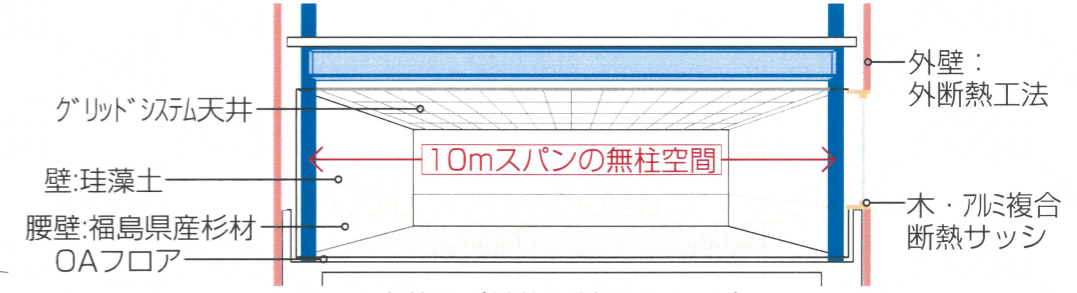
#### ■屋上を浸水時の一次避難・救護活動スペースとして活用

建物は陸屋根とすることで、ソーラーパネルの設置スペースを確保しながら浸水時の一次避難及び救護活動用のスペースとして活用する計画とします。内部階段の他に、地上から直接屋上へ上られる屋外階段を設けることで動線に配慮します。

### 課題4 社会環境の変化に柔軟に対応できる庁舎の提案

#### ■庁舎のレイアウト変更に対応できる構造計画・建築計画

主要構造部は10mスパン×5mピッチのフレームとし、大空間を無柱とすることで、レイアウト変更に対応できる計画とします。執務関連諸室には床下配線用のOAフロア及び、システム天井を採用することで設備機器のレイアウト変更に対応できる計画とします。



・内装及び外装の断面イメージ

#### ■建物の長寿命化を実現する工夫・・・メンテナンス性/耐久性/耐塩害性

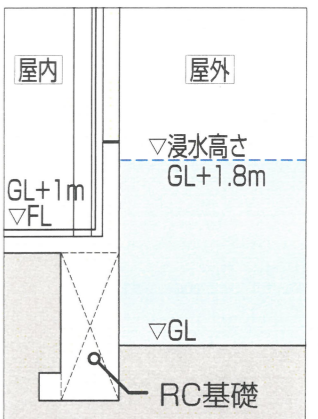
敷地は海からも距離が近く、塩害に配慮しながらメンテナンス性の良い高耐久の外装材の採用を検討します。具体的にはALC板+外断熱工法とし、仕上げ表面は高弾性・高耐候性で汚れにくいトップコートで仕上げる工法とします。屋外空調設備等も耐塩害性の製品を選定することで、耐久性を確保します。

主要構造部の損傷を抑える制振構造を採用することで構造体の長寿命化を図りながら、制振装置のメンテナンス方法に配慮した計画とします。また、執務関連諸室にはシステム天井を採用することで設備更新性を確保します。

技術提案書（様式5）

※印の欄は記入しないでください

受付番号	
※	7



・浸水対策のRC基礎の断面イメージ